

住民たちから喜ばれる

高齢者宅で除雪作業に励む

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）の1年生20人は、18日から20日までの3日間、町内の高齢者宅で除雪作業を実施。汗を流しながら作業に励んだ。写真。

1、2年生を対象に集中作業の一環として、毎年この時期に実施。本年度は1月21日



から23日まで、2年生30人が町内の高齢者宅14戸で除雪作業を行っている。

1年生も全学科（木工、工業、農業、被服デザイン、食品デザイン）の生徒たちが3グループに分かれ、除雪作業を実施。3日間合わせて11戸の高齢者宅を訪れた。

生徒たちは、玄関前の通路をはじめ、家屋や物置、車庫の周辺などを除雪。

スコップを手にながら、うずたかく積もった雪をかき出して、

雪押しダンブで運搬した。

この3日間もおおむね好天で、寒さも厳しくなかったため、作業中に汗をかいて、ジャンパーを脱いだ生徒もあり、互いに協力して除雪に励み、住民たちから大いに喜ばれていた。

佐藤隼さん（農業科）は「住民の方からお礼の言葉をかけられました。体力を上げたいので、もっと元気な作業していきたいです」と語っていた。

（中村）